

岩手山登山 2038m (網張温泉～岩手山～焼走り登山口へ)

期 日 2014年7月20日(日)～23日(水)

参 加 石川 誠 ・ 佳子

昨年は、八幡平温泉から七滝コースを辿って頂上を目指したが、梅雨時で不動平に着いた時は風雨強く、頂上は割愛し柳沢コースから馬返しに下山してしまった。

今年は登頂を目指し、週間天気を読みながら行程を決め、網張温泉コースから頂上そしてコマクサの群落が見えると言う焼走りコースへ下山するルートを選んだ。

行 程

7/20日 横須賀・東京 11:20分東北新幹線はやぶさ17号14:49分着・盛岡・13:45発バスで網張温泉着14:49分着

車で行くには長丁場、往復東北新幹線により出発する。盛岡からは昔懐かしい小岩井農場を經由し、初めて網張温泉に投宿する。

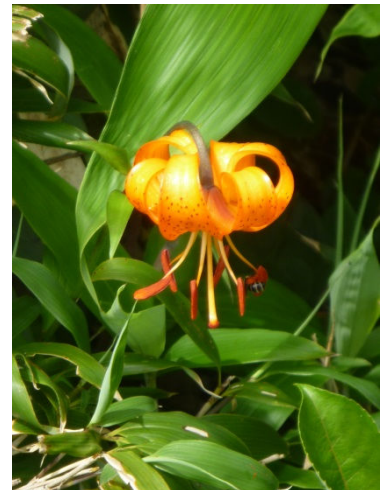
7/21日 網張温泉・登山リフト8:10発・9:20犬倉山9:40・10:45姥倉山11:00・11:35切通し11:45・鬼ヶ城ルート・不動平避難小屋15:10・八合目避難小屋15:25着

宿で弁当を作って貰い、土日、お盆休みに動いている登山用リフト



「ハクサンチドリ」

を利用して、網張コースに入る。犬倉山、姥倉山を經由し、切通しに入るここで道は二つに分かれ、昨年通ったお花畑コースと鬼ヶ城コースに分かれる。今回は鬼ヶ城コースを選んで頂上を目指すこととした。このコースは稜線も細く切り立っていて途中のチムニー状の岩場を乗越して行くもので、ガスが架かって下は見えないが冬はナイフリッジとなり、困難が予想される。斜面にはキスゲなど高山植物の花々が出迎えてくれる。岩場には黄色いペンキでルート表示がされているので安心であるが、悪天候のときはお



「クルマユリ」



花畑への迂回ルートの方が良いのではないか。この岩稜ルートを越えて途中御神坂登山道との交点を左に取り不動平の避難小屋に辿り着く。昨年もお世話になった八合目の避難ほどで着く。小屋は南東に開け背後に岩手山に守られていて緑の中に小鳥たちがさえざる別天地でもある。岩

手県山岳協会の方々が交代で管理されていて、小屋の前にはこんこんと御成清水が湧き出ている。7/22日 八合目避難小屋5:25発・5:40不動平6:10・6:50岩手山(薬師岳)6:50・岩手山頂・逆時計周りで7:00平笠不動避難小屋分岐通過7:30平笠不動避難小屋7:55・8:40ツルハシ分かれ8:50・第一噴出口・第二噴出口經由焼走り登山口11:20着・焼走り日帰り温泉で入浴・タクシーで花輪線大更駅16:04・16:41分盛岡着泊

小屋の中は温かくシュラフなしでツェルトを掛ければ寒くはなかつ

た。此処からの頂上は雲の流れも速く、ご来光を拝む人達は午前4時前に起き出し登って行った。我々も簡単な朝食を食べ、5時過ぎに頂上に向かう、不動平を過ぎて岩手山の外輪山を目指す。下

を見れば雲海が広がり緑多き不動平や八合目の避難小屋、昨日登った鬼ヶ城の稜線が俯瞰できる。外輪山を右回りに登って岩手山頂上を目指す。火山礫の斜面に多くのコマクサが咲いていて噂に違わずきれいであった。頂上で写真を撮り、平笠不動分岐を経て、焼走りコースに入る。

この下りはハイマツなど低木帯の中を急な火山礫の登山道を平笠避難小屋へと向かう。この避難小屋も綺麗に整備され、此処から仰ぐ岩手山も急峻で大きくまた立派である。

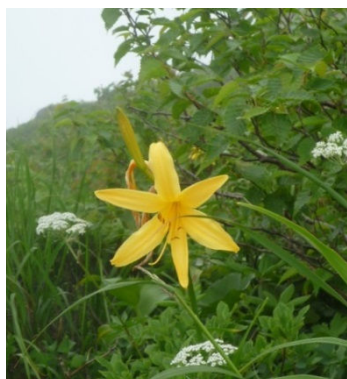


「シャクナゲ」

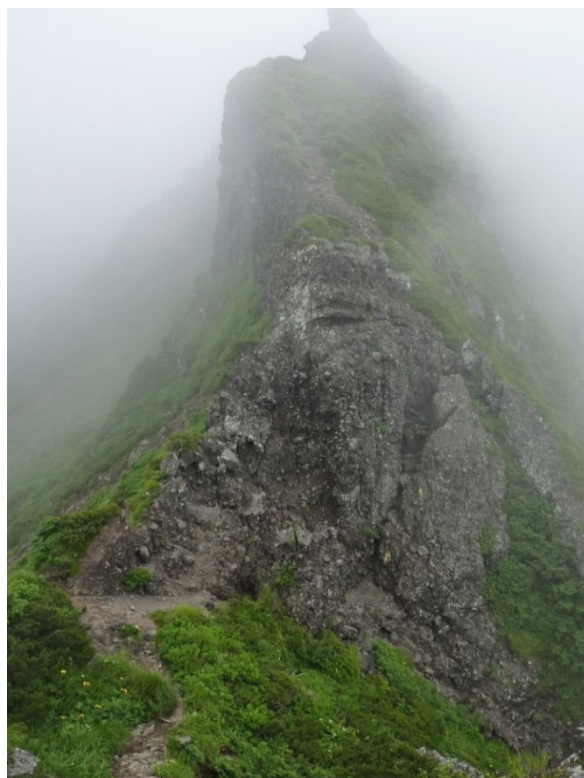
小屋からは林の中の急な山道をツルハシ分かれに向かう。ここは上坊コースの分岐で、個々から噴出口への砂礫の斜面を降ってゆく、斜面にはコマクサの群落が所々にみられ、展望の良い場所とのことだが雲の中で見る事が出来ず、やたら暑かった。我々は下りだから良いが、登ってくる人たちは延々と続く砂礫の斜面はきつそうであった。今朝下界は雨模様だったとのことでやはり雲海を抜けると晴れていたのだ。噴出口を過ぎ 30 分程で平らな道となり、右手に溶岩が流れを見ながらミズナラとブナの平らな道を辿って焼走り登山口に到着した。

焼走り溶岩流を見学した後、傍に有る日帰り温泉『焼走りの湯』に入り汗を流した。盛岡へは花輪線大更駅から 40 分程の乗車で、車窓から見える南部片富士はやはり趣のある優雅な姿で見送ってくれた。

7/23 日 盛岡 8:50・東北新幹線はやぶさ・こまち 10 号・東京 11:04 分着・帰宅



「キスゲ」



「鬼ヶ城コースの稜線を行く」



「鬼ヶ城の稜線」



「エゾツツジ」



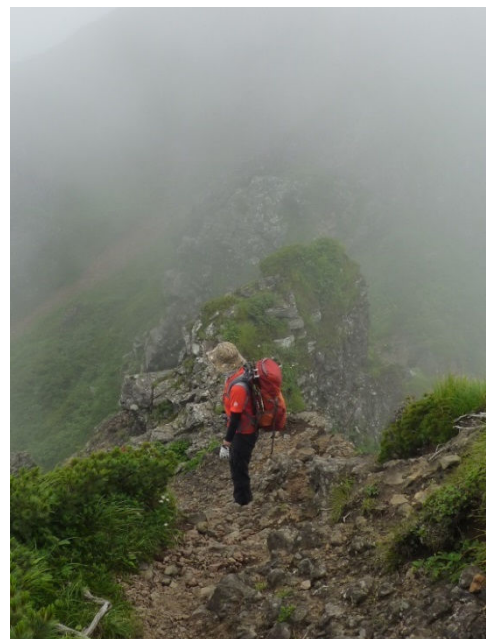
「岩法峰への取付き」



「クラックを登る」



「岩場を乗越す」



「岩峰を振り返る」



「荒れる稜線」



「鬼ヶ城の稜線を仰ぐ」



「八合目避難小屋」



「コマクサ」



「出発・小屋の前で」



「不動平の避難小屋」



「朝もやの中の不動平」



「コマクサの群落」



「岩手山頂上を望む」



「八幡平方面」



「山頂外輪山」



「うねる雲海」



「砂礫に咲くコマクサ」



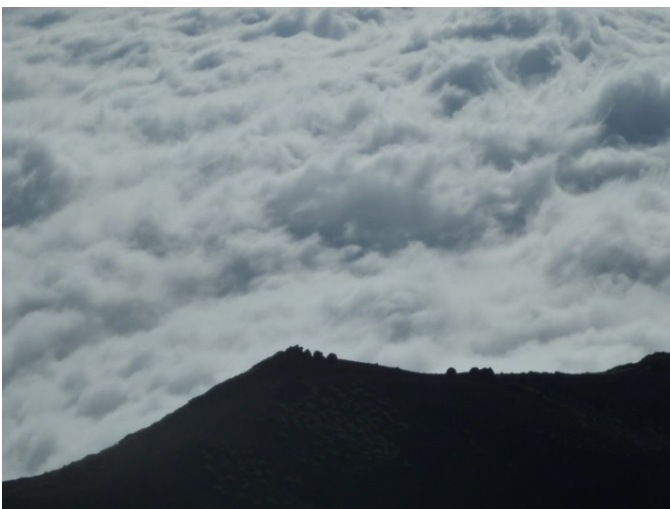
「エゾオヤマリンドウ」



「岩手山山頂」



「八幡平方面」



「押し寄せる雲海」



「平笠不動避難小屋を見る」



「イワブクロ」



「辿ってきた鬼ヶ城稜線を見る」



「見上げる南部富士」



「平笠分岐と避難小屋」



「盛岡さんさ踊り」



「焼走り登山口」